

秋厚労ニュース

NO1733号

2017年1月12日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

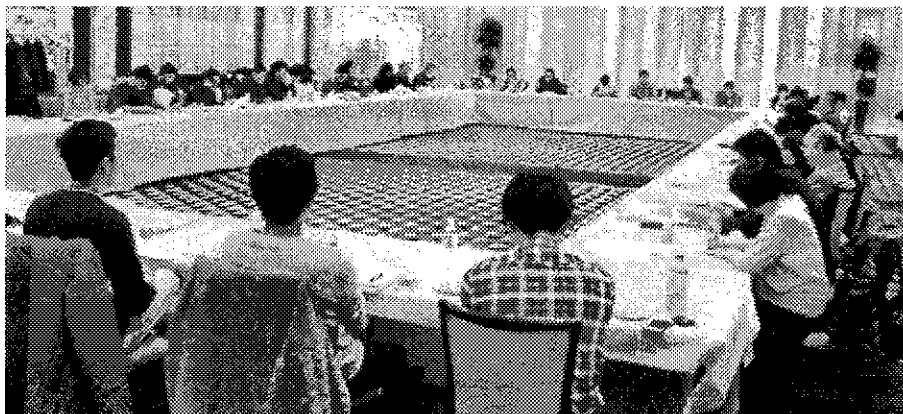
FAX 018(864)3349

参加者次々と

職場の実情発言

秋厚労 拡大中央委員会

去る1月7日（土）～8日（日）、秋厚労拡大中央委員会が行われ、9支部57人が参加。「厚生連の異変」と言われる社会的背景を学習した上で、春闘などの方針を検討。数多くの参加者が職場の実情を発言し、みんなで解決策を考え、それが「要求に関する論議」に発展した2日間になりました。



厚生連の異変を学び内外の人が働きたいと思う職場をつくる

秋厚労は、昨年9月の定期大会の論議に添って、この秋「ハラスメント・アンケート」や「定年に関する支部学習会」などの取り組みを行ってきました。拡大中央委員会では、これらを検証・総括したうえで、今後、①内外の人が働きたいと思うような職場づくりをさらに多角的に推進、②全国の厚生連の「異変」を注視・対応すること、などを確認しました。

農協の病院として 食は一番大事

これをふまえて、支部でも交渉や学習会等を進めます。また、春闘後にはハラスメント関連の要求も検討し、5月頃から「現場スタッフとの懇談」も再開することになりました。

「厚生連の異変」に関して、今回、全国の状況に詳しい茂原宗一氏（長野・前全厚労中央執行委員長）に講師をお願いしました。茂原さんは、協同組合でありながら住民・職員を無視し

春闘要求決める中央委員会は2月4日

拡大中央委員会2日目の討論では、「検査技師の応募が少ないため」「秋厚労・検査科勤務者会議」で採用試験の改善を求める要求を提案」という発言を皮切りに、20人を超す人が次々と挙手。職場の実情、経営者目線と学生目線との違い、「厚生連はブラック」という風評の伝播など、様々な意見を述べました。討論は、「要求の方向」を軸に、職種を超えて

て事を運んだ埼玉県厚生連の経緯を報告。さらに、「年末ボーナス0.5ヶ月回答」に茨城県厚生連労働組合の仲間が必死で闘っていること。同じような「異変」を、石西・栃木・埼玉・秋田・新潟などで経験したこと。その背景には「アベノミクス」や「農協改革」などがあることも解明しました。

対策として、厚生連の社会的な役割を明確にして運動することなどを挙げ、一例として「農協の病院として『食』は一番大事」だと強調しました。

解決策を考える場となり、全体が1つになりました。なお、この空気を持ち帰り、これから各職場や支部で「春闘要求」について話し合います。要求を決める中央委員会は2月4日（土）です。

良い仕事をするために 労働組合がある

また、討論では、「転勤110番」など春闘の運動に関しても意見交換。加えて、

「秋厚労定期大会」や「新入組合員学習と交流のつどい」の日程や会場についても決まりました。

討論の最後に、講師の茂原さんが「秋厚労は、ひとりひとりを大切に、とても丁寧に論議していることが良くわかりました。私は『良い仕事をするために労働組合がある』と考えています。今日の論議は、それを実感する場となりました」と感想を述べました。

拡大中央委員会で決定した主な会議等の日程

会議等	日程	会場
春闘要求を決める中央委員会	2月 4日(土)15:00~	秋厚労会館
春闘決起集会	2月18日(土)13:30~	ルポールみずほ
ボーナスやハラスメントに関する要求を決める中央委員会	4月 1日(土)15:00~	秋厚労会館
新入組合員学習と交流のつどい	7月15日(土)~16日(日)	わらび座
秋厚労定期大会	9月23日(土)~24日(日)	秋田温泉さとみ